



森の楽校だより

VOL. 23

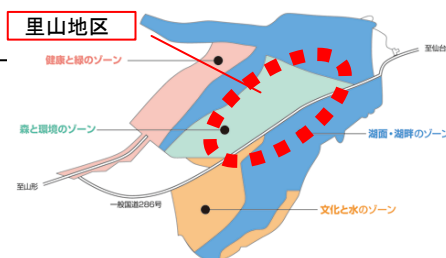


森の楽校とは？

みちのく公園里山地区は、雑木林におおわれた森のエリアです。人と自然のかかわりや、生物多様性について学び体験できる里山として、平成 26 年に開園を予定しています。

市民が身近な自然に親しみ、里山活動に気軽に参加する機会を設けるため、昨年度に引き続き、「みちのく森の楽校」を開催します。「森の楽校」では、森に係るさまざまな活動を楽しみながら、これからの里山と人のかかわりを築いていきます。

平成 24 年度は活動の拠点となるツリーハウスづくりを中心にベンチづくりなど活動の場を広げていきます。



2月2日（土）曇り ツリーハウスの枠組み設置

ついにツリーハウスをホストツリーに設置しました。

本年度活動開始から9カ月、ついにツリーハウスの枠組みをホストツリーに組んだデッキ最上段に設置しました。



これまで、地上で仮組みをしていたツリーハウスを「コの字型」の枠組みの状態まで戻し、ウィンチを使って、サードデッキ上に設置しました。今後、屋根や壁など仮組みしていたものを再度取り付け、転落防止の手摺などを設置します。

ツリーハウス吊り上げ準備

ツリーハウスを枠組みの状態まで戻し、一端ファーストデッキの上に載せました。そこでボルトなどを締め直し、吊り上げ準備完了です。



建具づくり

作業小屋では、ツリーハウスに取り付ける建具づくりが進んでいます。以前につくった4cmの角材を組合せ、窓と窓枠を作りました。



ベンチの作り方2

以前に 40cm 程のスギ丸太を使ったベンチづくりを紹介しました。今回は、もう少し簡易に作ることでできるベンチの紹介です。ツリーハウス周辺に多くある 20cm 前後のスギを用い、手ノコとノミを使って作ります。



20cm 程度のスギ丸太を 180cm 1 本 60cm 2 本の長さで玉切りし、皮を剥きます。



脚となる 60cm の丸太に手ノコで刻みに入れ、ノミで掘り込んでいきます。(座面となる丸太とぴったり合うように中央部は深く、両脇は徐々に浅くなるようにすることがポイントです。)



脚部と座面となる丸太をカスガイで固定すれば丸太をそのまま組み合わせたベンチの完成です。

ツリーハウスの変化

今年度の活動は、ファーストデッキと手摺の一部ができた状態で初回を迎えました。それから9カ月、回を重ねるごとにツリーハウスは高さを増し、いよいよ完成間近です。



活動初日のツリーハウス (4/21)



今回活動を終えてのツリーハウス